



ごみ処理作業の安全性を確保し、強靱で持続可能な廃棄物処理体制を構築します。

## 1. 事業目的

- ① 一般廃棄物処理分野におけるごみ処理作業の実態を調査分析する。
- ② 市町村及び事業者向けの研修素材の配布により、ごみ処理作業員の安全性を確保する。

## 2. 事業内容

一般廃棄物の処理は人々の生活を維持するために必要不可欠な社会サービスであるため、激甚化する災害により発生する災害廃棄物の対応、新型コロナウイルス感染症の流行といった危機的な状況下であっても、安定的な事業継続が必要である。一方で、高齢者世帯等を対象とした戸別収集や住民の利便性向上等を踏まえた夜間収集といった行政ニーズの多様化に対応することも同時に求められている。これらの廃棄物処理を取り巻く事業環境に対応していかなければならないことに加え、廃棄物処理の体制面では、作業員の担い手不足や高齢化が進んでいるといった課題もある。引き続き、安定的な廃棄物処理体制を維持するには、これまで以上に、作業員の研修を通じて事故の未然防止を図るとともに、意欲・能力を存分に発揮できる環境を作り出していくことが必要である。

- ・ ごみ処理作業の実態を調査・分析し、課題の整理、事例の抽出を行う。
- ・ 感染症対策を含め、作業員の安全性確保と意識向上のための研修素材を作成する。
- ・ 効果的な収集作業員の研修方法を提示する。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和3年度～令和4年度（予定）

## 4. 事業イメージ

